

令和2年3月31日（火）

独立行政法人 労働政策研究・研修機構（理事長 樋口美雄）
雇用構造と政策部門 統括研究員 大隈 俊弥
人材育成部門 研究員 関家 ちさと
（代表電話）03-5903-6111 （URL）<https://www.jil.go.jp/>

「60代の雇用・生活調査」結果

労働政策研究・研修機構は、2019年7～8月に、現行の高年齢者雇用安定法の下での高年齢者雇用確保措置の実施状況や高齢者の就業・生活に関する実態を把握するため、調査を行いました。このほど、調査結果がまとまりましたので公表します。

調査結果のポイント

＜現在の就業状況・・・60代の高齢者に占める就業者の割合が上昇＞

- ・ 調査時点で仕事をしていた高齢者が59.0%で、前回の同様の調査（以下「2014年調査」という）より4ポイント上昇 《P4、図表1》
仕事をしている高齢者のうち、①雇用の割合が65.0%（2014年調査より6ポイント程度上昇）、自営業主の割合が11.9%（同6ポイント程度低下）《P5、図表2》、②フルタイム勤務の割合が50.6%（同3ポイント程度上昇）、男性60～64歳層では77.0%（同10ポイント程度上昇）《P6、図表3》、③正社員の割合が21.4%（同2ポイント程度低下）、男性60～64歳層では37.1%（同6ポイント程度上昇）《P7、図表4》
- ・ 仕事をしている理由（複数回答）は、「経済上の理由」が76.4%（同5ポイント上昇）、「いきがい、社会参加のため」が33.4%（同2ポイント程度上昇）、「健康上の理由」が20.6%（同3ポイント程度低下）、「頼まれたから」が15.6%（同2ポイント程度低下）《P8、図表5》

＜55歳当時からの就業状況の変化・・・定年直後に就業していた者の割合が上昇＞

- ・ 定年経験者のうち、定年直後に「仕事をしていた」が63.4%（同6ポイント程度上昇）、60～64歳層では男女とも同15ポイント程度上昇 《P11、図表10》
- ・ 定年直後に仕事をしていた人の就業経緯は、勤務先の会社などでの再雇用・勤務延長が73.9%（同8ポイント程度上昇）《P11、図表11》
- ・ 55歳当時雇用者であった人で定年を経験していない人のうち、定年前等に「退職した」が50.3%（同4ポイント程度低下）、「現在も勤務している」が48.5%（同5ポイント程度上昇）《P12、図表12》

- ・ 55歳当時の勤め先を定年前等に退職した者のうち、事業主都合であった者の割合は21.8%（同8ポイント程度低下）《P13、図表13》

＜高齢期に向けて行った諸準備・・・「特に取り組んだことはない」が最も多い＞

- ・ 高齢期のキャリアを意識して行った職業能力開発や転職準備等（複数回答）については、「特に取り組んだことはない」が65.4%と最も多く、「資格を取得するために自分で勉強したことがある」が12.8%、「資格取得について調べたことがある」が7.6%、「資格取得を目的とはしないが、自分で勉強したことがある」が7.6%《P13、図表14》

＜65歳以降の就業意向・・・65歳以降も働きたいとする高齢者が増加＞

- ・ 60～64歳で働いている人を対象に65歳以降の働く予定を尋ねると、「採用してくれる職場があるなら、ぜひ働きたい」が30.5%（同17ポイント上昇）、「すでに働くことが（ほぼ）決まっている」が25.6%（同10ポイント程度上昇）、「まだ決めていない。わからない」が27.2%（同4ポイント程度低下）、「仕事はしたくない。仕事からは引退するつもり」が7.0%（同5ポイント程度低下）《P15、図表15》
- ・ 今後望ましい仕組みについては、「希望すれば何歳まででも働ける仕組みが望ましい」が41.7%と最も多く、ついで「60歳より上の定年年齢が望ましい」が33.4%、「定年後の継続雇用の上限年齢の引き上げが望ましい」が16.9%《P17、図表18》

※調査結果の詳細は、同日公開のJILPT調査シリーズ No. 199 を参照すること。

I 調査の概要

1. 本調査の趣旨・目的

人生 100 年時代を迎え、働く意欲がある高齢者がその能力を十分に発揮できるよう、高齢者の活躍の場を整備することが重要な課題となっている。こうした中で、高齢者雇用に関する政策立案のための基礎資料として活用されるよう、現行の高年齢者雇用安定法の下での高年齢者雇用確保措置の実施状況や、高齢者の就業・生活に関する実態について、調査を行ったものである。

また、本調査の調査項目の一部は、2014 年に実施した「60 代の雇用・生活調査」（以下「2014 年調査」という）を引き継いでいる。

2. 調査の対象、時期及び回収状況

- ・調査対象 60～69 歳の 5,000 人（個人を対象）
 〔 60～64 歳 男性 1,600 人、女性 1,100 人 〕
 〔 65～69 歳 男性 1,400 人、女性 900 人 〕
- ・調査方法 住民基本台帳から層化二段系統抽出法により抽出、訪問留め置き法
- ・調査時期 2019 年 7 月～8 月（調査時点 2019 年 6 月 1 日）
- ・有効回答 2,883 人（有効回答率：57.7%）

3. 結果の表章

本調査の結果は、抽出率の逆数によるウェイトバック（復元）を行い、それぞれの調査項目の該当者計の復元後の人数（千人単位）及びカテゴリーごとの構成比で表章している。なお、回答者の実人数と復元後の人数とは次のようになっている。

		回答者実人数		復元後の人数	
		人数（人）	構成比（%）	人数（千人）	構成比（%）
60～69 歳計		2,883	100.0	17,303	100.0
	60～64 歳	1,590	55.2	7,634	44.1
	65～69 歳	1,293	44.8	9,668	55.9
男性	60～69 歳計	1,731	60.0	8,467	48.9
	60～64 歳	934	32.4	3,780	21.8
	65～69 歳	797	27.6	4,687	27.1
女性	60～69 歳計	1,152	40.0	8,835	51.1
	60～64 歳	656	22.8	3,854	22.3
	65～69 歳	496	17.2	4,981	28.8

II 調査結果の概要

1. 現在の就業状況

○就業割合は総じて上昇（図表1）

- 回答者全員のうち、60代の人々の調査時点（2019年6月1日）での就業（仕事）の有無をみると、「仕事をした」が59.0%で、過半数の人が就業していた。年齢層別には60～64歳層が70.2%であるのに対して65～69歳層は50.1%と20ポイント程度低くなっている。男女別には男性が69.1%、女性が49.3%で20ポイント程度男性の方が高くなっている。
- 2014年調査との比較では、全体的に就業割合は上昇しており、年齢層別では60～64歳層が8ポイント程度上昇し、男女別では男女ともに4ポイント程度上昇している。

図表1 調査時点での就業(仕事)の有無

〈2019年調査＝2019年6月について〉						〈2014年調査＝2014年6月について〉					
	総数 (千人)	計	した	しなかった	無回答		総数 (千人)	計	した	しなかった	無回答
男女計	17,303	100.0	59.0	41.0	-	男女計	18,199	100.0	55.4	44.4	0.2
60～64歳	7,634	100.0	70.2	29.8	-	60～64歳	9,650	100.0	62.6	37.3	0.1
65～69歳	9,669	100.0	50.1	49.9	-	65～69歳	8,549	100.0	47.3	52.4	0.3
男性計	8,468	100.0	69.1	30.9	-	男性計	8,861	100.0	65.8	34.0	0.2
男性・60～64歳	3,780	100.0	80.8	19.2	-	男性・60～64歳	4,761	100.0	74.7	25.1	0.1
男性・65～69歳	4,687	100.0	59.6	40.4	-	男性・65～69歳	4,100	100.0	55.4	44.3	0.4
女性計	8,835	100.0	49.3	50.7	-	女性計	9,337	100.0	45.5	54.3	0.2
女性・60～64歳	3,854	100.0	59.8	40.2	-	女性・60～64歳	4,889	100.0	50.7	49.1	0.2
女性・65～69歳	4,981	100.0	41.1	58.9	-	女性・65～69歳	4,448	100.0	39.8	60.0	0.2

(注)「仕事をした」には、仕事をもっていて当該月に休職・休業していた場合を含む。

○就業者中の雇用者である割合もやや上昇（図表2）

- 就業している人の従業上の地位・形態別の構成をみると、「会社、団体などに雇われて仕事をしてきた」（雇用者）が65.0%を占め、次いで「商店、工場、農家などの自家営業や自由業であった」（自営業主）が11.9%、「会社、団体などの役員であった」（会社経営・役員）が11.5%などとなっている。
- 年齢層別にみると、60～64歳層に比べ65～69歳層では雇用者の割合が低く、代わって自営業主の割合が高くなっている。また、「シルバー人材センターを通じて仕事をしてきた」や「家業の手伝いをしてきた」が、数%の水準であるが65～69歳層では高くなっている。男女別にみると、雇用者割合は同程度（男性64.7%、女性65.4%）であるが、男性はこれに会社経営・役員（14.3%）、自営業（13.3%）がつづくのに対し、女性は自営業（10.1%）、家業の手伝い（9.3%）がつづく。
- 2014年調査との比較では、雇用者の割合が6ポイント程度上昇し、その一方で自営業主の割合が6ポイント程度低下するなどの変化が見られる。
- 2014年調査と比べた雇用者割合の上昇を男女別・年齢層別にみると、男性では60～64歳層、65～69歳層とも8ポイント程度の上昇、女性では60～64歳層は5ポイント程度の

上昇、65～69 歳層は7ポイントの上昇となっている。

図表2 調査時点で行っていた仕事の従業上の地位・形態(調査時点で仕事をしている人)

〈2019年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	会社、団体 などに雇わ れて仕事を していた	会社、団体 などの役員 (会社経 営、役員 等)であった	商店、工 場、農家な どの自家営 業や自由業 であった	近所の人や 会社などに 頼まれて、 任意で行う 仕事をして いた	シルバー人 材センター を通じて仕 事をしてい た	家庭で内職 をしていた	家業(自家 営業)の手 伝いをして いた	無回答
男女計	10,201	100.0	65.0	11.5	11.9	1.8	1.9	1.3	5.5	1.1
60～64歳	5,359	100.0	71.7	10.1	9.9	1.8	1.1	0.8	3.5	1.2
65～69歳	4,842	100.0	57.6	13.0	14.2	1.9	2.9	1.8	7.7	1.0
男性計	5,849	100.0	64.7	14.3	13.3	2.0	2.2	0.4	2.6	0.6
男性・60～64歳	3,056	100.0	70.7	12.8	11.1	1.6	0.9	0.1	1.7	0.9
男性・65～69歳	2,794	100.0	58.1	15.8	15.6	2.5	3.6	0.6	3.6	0.2
女性計	4,352	100.0	65.4	7.8	10.1	1.5	1.6	2.6	9.3	1.7
女性・60～64歳	2,303	100.0	73.0	6.4	8.2	2.0	1.3	1.8	5.9	1.5
女性・65～69歳	2,049	100.0	56.9	9.3	12.3	1.0	2.0	3.4	13.2	2.0

〈2014年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	会社、団体 などに雇わ れて仕事を していた	会社、団体 などの役員 (会社経 営、役員 等)であった	商店、工 場、農家な どの自家営 業や自由業 であった	近所の人や 会社などに 頼まれて、 任意で行う 仕事をして いた	シルバー人 材センター を通じて仕 事をしてい た	家庭で内職 をしていた	家業(自家 営業)の手 伝いをして いた	無回答
男女計	10,081	100.0	58.8	8.8	18.0	3.0	2.8	0.9	6.7	1.0
60～64歳	6,040	100.0	64.6	9.3	14.1	2.1	1.2	1.0	6.8	1.0
65～69歳	4,041	100.0	50.2	8.0	23.9	4.3	5.2	0.9	6.5	0.9
男性計	5,829	100.0	57.7	12.3	20.1	2.5	2.9	0.3	3.4	0.8
男性・60～64歳	3,559	100.0	62.3	13.0	17.2	1.4	1.4	0.4	3.6	0.7
男性・65～69歳	2,271	100.0	50.4	11.2	24.8	4.2	5.2	0.2	3.1	0.8
女性計	4,252	100.0	60.4	3.9	15.2	3.7	2.7	1.7	11.2	1.2
女性・60～64歳	2,481	100.0	67.8	3.9	9.7	3.2	0.8	1.7	11.4	1.4
女性・65～69歳	1,771	100.0	49.9	3.9	22.9	4.4	5.3	1.7	11.0	0.9

○所定勤務時間の形態(図表3)

- ・ 所定勤務時間の形態についてみると、「普通勤務(フルタイム勤務)」が50.6%と過半数を占める一方、「普通勤務より1日当たりの労働時間が短い」(16.0%)、「普通勤務より1週間当たりの勤務日数が少ない」(9.8%)、「普通勤務より1日当たりの労働時間が短く1週間当たりの勤務日数も少ない」(14.1%)などの短時間の勤務も半数近くを占めている。
- ・ フルタイム勤務の割合は、男性では60～64歳層(77.0%)に比べ65～69歳層(46.0%)は30ポイント程度低くなるが、女性では7ポイント程度の低下(36.0%→29.3%)にとどまる。
- ・ 2014年調査と比較すると、特に男性の60～64歳層の「普通勤務(フルタイム勤務)」が67.5%から77.0%へと10ポイント程度増加している

図表3 現在の仕事の所定勤務時間の形態(雇用されて働いている人)

〈2019年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	普通勤務 (フルタイム 勤務)	普通勤務より 1日当たりの 労働時間が 短い	普通勤務より 1週間当 たりの勤務 日数が少な い	普通勤務より 1日当たり の労働時間 が短く、1週 間当たりの 勤務日数も 少ない	勤務日と時 間帯を弾力 的に設定で きるフレック ス勤務	在宅勤務・ テレワーク	その他	無回答
男女計	6,630	100.0	50.6	16.0	9.8	14.1	4.7	0.5	3.3	0.9
60～64歳	3,841	100.0	59.1	14.7	9.4	9.5	3.0	0.1	3.5	0.8
65～69歳	2,788	100.0	39.0	17.8	10.4	20.4	7.1	1.1	3.1	1.0
男性計	3,785	100.0	63.7	9.5	8.8	10.4	4.0	0.4	2.4	0.8
男性・60～64歳	2,161	100.0	77.0	7.1	7.5	3.6	1.5	0.2	2.6	0.6
男性・65～69歳	1,623	100.0	46.0	12.7	10.5	19.6	7.2	0.7	2.2	1.1
女性計	2,845	100.0	33.3	24.7	11.3	18.9	5.7	0.7	4.4	1.0
女性・60～64歳	1,680	100.0	36.0	24.5	11.9	17.1	4.9	-	4.5	1.0
女性・65～69歳	1,165	100.0	29.3	25.0	10.3	21.6	6.9	1.7	4.3	0.9

〈2014年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	普通勤務 (フルタイム 勤務)	普通勤務より 1日当たりの 労働時間が 短い	普通勤務より 1週間当 たりの勤務 日数が少な い	普通勤務より 1日当たり の労働時間 が短く、1週 間当たりの 勤務日数も 少ない	勤務日と時 間帯を弾力 的に設定で きるフレック ス勤務	在宅勤務・ テレワーク	その他	無回答
男女計	5,927	100.0	48.0	17.4	11.0	14.8	4.4	0.7	3.3	0.3
60～64歳	3,899	100.0	52.6	18.3	9.6	11.8	3.7	0.7	2.9	0.4
65～69歳	2,028	100.0	39.1	15.8	13.8	20.6	5.5	0.6	4.3	0.2
男性計	3,361	100.0	60.2	9.6	13.4	9.9	3.3	0.5	2.6	0.4
男性・60～64歳	2,217	100.0	67.5	10.3	11.2	6.0	2.0	0.1	2.5	0.4
男性・65～69歳	1,144	100.0	46.1	8.2	17.6	17.7	6.0	1.1	2.9	0.4
女性計	2,566	100.0	32.0	27.7	7.9	21.3	5.7	0.9	4.3	0.2
女性・60～64歳	1,682	100.0	33.0	28.8	7.4	19.6	6.1	1.4	3.4	0.3
女性・65～69歳	884	100.0	30.1	25.6	9.0	24.4	4.9	-	6.0	-

○雇用形態(図表4)

- 雇用形態についてみると、正社員は2割程度(21.4%)であり、パート・アルバイトが40.7%、嘱託が15.2%、契約社員14.4%などとなっている。ただし、男女別に大きな違いがみられ、男性では正社員の割合(29.3%)の方がパート・アルバイトの割合(22.4%)より高くなっている。女性では、正社員(11.0%)の割合が低い一方、パート・アルバイトが64.9%と3分の2近くを占めている。年齢層別にみると、60～64歳層に比べ65～69歳層では正社員の割合が12ポイント程度低くなり(26.4%→14.6%)、これに代わりパート・アルバイトの割合が14ポイント程度高くなっている(34.6%→49.0%)。
- 2014年調査と比べると、男性の60～64歳層の正社員(31.7%→37.1%)と65～69歳層の契約社員(12.1%→22.5%)で割合が高くなっている。

図表4 現在の仕事の雇用形態(雇用されて働いている人)

〈2019年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	正社員	パート・ アルバイト	嘱託	契約社員	派遣労働者	その他	無回答
男女計	6,630	100.0	21.4	40.7	15.2	14.4	2.7	4.7	0.9
60～64歳	3,841	100.0	26.4	34.6	18.2	13.6	2.9	3.3	0.9
65～69歳	2,788	100.0	14.6	49.0	11.1	15.6	2.3	6.6	0.8
男性計	3,785	100.0	29.3	22.4	21.3	20.0	2.2	3.8	1.0
男性・60～64歳	2,161	100.0	37.1	13.7	24.0	18.2	2.2	3.7	1.1
男性・65～69歳	1,623	100.0	18.8	34.1	17.8	22.5	2.2	4.0	0.7
女性計	2,845	100.0	11.0	64.9	7.1	7.0	3.3	5.9	0.8
女性・60～64歳	1,680	100.0	12.6	61.5	10.8	7.7	3.8	2.8	0.7
女性・65～69歳	1,165	100.0	8.6	69.8	1.7	6.0	2.6	10.3	0.9

〈2014年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	正社員	パート・ アルバイト	嘱託	契約社員	派遣労働者	その他	無回答
男女計	5,927	100.0	23.3	42.8	16.4	11.4	1.6	3.4	1.0
60～64歳	3,899	100.0	25.5	39.6	17.0	10.9	2.0	3.7	1.2
65～69歳	2,028	100.0	19.1	49.0	15.2	12.3	0.9	2.8	0.7
男性計	3,361	100.0	28.9	25.4	24.1	14.5	1.7	4.4	0.9
男性・60～64歳	2,217	100.0	31.7	20.1	24.1	15.7	1.8	5.5	1.1
男性・65～69歳	1,144	100.0	23.9	35.7	24.0	12.1	1.6	2.2	0.5
女性計	2,566	100.0	15.8	65.6	6.4	7.4	1.5	2.1	1.2
女性・60～64歳	1,682	100.0	17.4	65.3	7.7	4.6	2.3	1.3	1.4
女性・65～69歳	884	100.0	12.8	66.3	3.9	12.6	-	3.6	0.9

○就業の理由 (図表5)

- 調査時点で仕事をしている人に就業している動機を尋ねた結果(複数回答)をみると、「経済上の理由」が76.4%と群を抜いて多く、次いで「いきがい、社会参加のため」(33.4%)、「時間に余裕があるから」(22.6%)などとなっている。年齢層別にみると、60～64歳層に比べ65～69歳層では「経済上の理由」の割合が低くなり、「時間に余裕があるから」をはじめ他の理由が多くなっている。また、男女別には、「健康上の理由」は男性の方が多く、「いきがい、社会参加のため」などは女性の方が多くなっている。
- 2014年調査との比較では、「経済上の理由」や「いきがい、社会参加のため」の割合が増加し、「健康上の理由」や「頼まれたから」の割合が減少している。これを雇用者として働いている人だけについても、同様の傾向が見られる。

図表5 現在仕事をしている理由(調査時点で仕事をしている人)

＜仕事をしていない人(就業者)計＞									＜うち雇われて働いていた人(雇用者)＞										
(2019年調査)									(2019年調査)										
	総数 (千人)	計	雇用上の理由	雇用上の理由 (健康に良いなど)	いきがいが、 社会参加のため	雇われたから	時間に余裕があるから	その他	無回答		総数 (千人)	計	雇用上の理由	雇用上の理由 (健康に良いなど)	いきがいが、 社会参加のため	雇われたから	時間に余裕があるから	その他	無回答
男女計	10,201	100.0	76.4	20.6	33.4	15.6	22.6	10.1	1.0	男女計	6,630	100.0	81.7	24.0	37.0	15.8	26.0	4.5	1.0
60～64歳	5,359	100.0	82.3	18.7	33.6	13.1	20.3	9.3	0.8	60～64歳	3,841	100.0	86.7	20.7	35.6	12.0	23.8	4.3	0.8
65～69歳	4,842	100.0	69.8	22.7	33.2	18.3	25.2	11.0	1.1	65～69歳	2,788	100.0	74.8	28.4	39.0	20.9	29.0	4.8	1.4
男性計	5,849	100.0	78.2	21.9	31.3	15.8	18.7	11.2	0.9	男性計	3,785	100.0	82.9	26.0	33.3	16.7	22.7	5.9	0.8
男性・60～64歳	3,056	100.0	84.5	18.4	29.7	12.7	14.2	10.3	0.7	男性・60～64歳	2,161	100.0	87.8	21.9	30.3	12.2	17.9	6.0	0.6
男性・65～69歳	2,794	100.0	71.4	25.7	33.1	19.2	23.6	12.2	1.3	男性・65～69歳	1,623	100.0	76.4	31.5	37.3	22.8	29.3	5.8	1.1
女性計	4,352	100.0	73.8	18.9	36.2	15.2	27.9	8.6	1.0	女性計	2,845	100.0	80.0	21.2	41.9	14.4	30.2	2.7	1.3
女性・60～64歳	2,303	100.0	79.3	19.1	38.8	13.5	28.3	7.9	1.0	女性・60～64歳	1,680	100.0	85.3	19.2	42.3	11.9	31.5	2.1	1.0
女性・65～69歳	2,049	100.0	67.6	18.6	33.3	17.2	27.5	9.3	1.0	女性・65～69歳	1,165	100.0	72.4	24.1	41.4	18.1	28.4	3.4	1.7

(2014年調査)									(2014年調査)										
	総数 (千人)	計	雇用上の理由	雇用上の理由 (健康に良いなど)	いきがいが、 社会参加のため	雇われたから	時間に余裕があるから	その他	無回答		総数 (千人)	計	雇用上の理由	雇用上の理由 (健康に良いなど)	いきがいが、 社会参加のため	雇われたから	時間に余裕があるから	その他	無回答
男女計	10,081	100.0	71.4	23.1	31.5	17.5	22.6	10.1	2.2	男女計	5,927	100.0	76.0	28.3	35.2	17.4	28.4	4.0	1.4
60～64歳	6,040	100.0	75.2	20.6	29.6	14.3	20.4	10.0	2.4	60～64歳	3,899	100.0	80.2	25.2	33.1	13.3	25.8	4.2	1.4
65～69歳	4,041	100.0	65.9	26.7	34.4	22.3	26.0	10.3	2.1	65～69歳	2,028	100.0	67.9	34.5	39.2	25.3	33.3	3.8	1.6
男性計	5,829	100.0	75.3	23.2	28.1	18.6	18.8	9.3	1.7	男性計	3,361	100.0	79.3	27.8	31.0	18.4	22.8	3.3	1.2
男性・60～64歳	3,559	100.0	80.0	20.5	26.2	14.1	15.4	8.8	2.0	男性・60～64歳	2,217	100.0	84.4	24.5	29.0	13.4	18.6	3.8	1.0
男性・65～69歳	2,271	100.0	67.9	27.5	30.9	25.6	24.2	10.2	1.3	男性・65～69歳	1,144	100.0	69.6	34.2	34.9	31.2	31.1	2.8	1.6
女性計	4,252	100.0	66.2	22.9	36.3	16.0	27.9	11.2	3.0	女性計	2,566	100.0	71.8	29.0	40.8	14.8	35.6	4.9	1.8
女性・60～64歳	2,481	100.0	68.2	20.9	34.5	14.7	27.5	11.7	2.9	女性・60～64歳	1,682	100.0	74.7	26.0	38.6	13.3	35.3	4.9	1.9
女性・65～69歳	1,771	100.0	63.3	25.8	38.8	17.9	28.3	10.5	3.0	女性・65～69歳	884	100.0	65.7	34.8	44.8	17.8	36.2	4.9	1.6

○仕事の満足度(図表6)

- ・ 現在の仕事に対する満足度をみると「普通」が47.2%を占めるが、それ以外の回答では、「大いに」及び「やや」を合わせて満足方向の割合が37.3%に対して、不満方向が14.6%と総じて満足とする方が多くなっている。年齢層別では大きな違いは見られないが、男女別には女性の方がやや満足方向の回答が多い傾向が見られる。
- ・ 2014年調査と比較すると、「やや満足」、「普通」、「やや不満」、「大いに不満である」がそれぞれ少しずつ増加している。

図表6 現在の仕事の満足度(調査時点で仕事をしている人)

＜2019年調査＞									(%)
	該当者数 (千人)	計	大いに満足 している	やや満足 している	普通	やや不満 である	大いに不満 である	無回答	
男女計	10,201	100.0	14.6	22.7	47.2	11.2	3.4	1.0	
60～64歳	5,359	100.0	14.7	22.2	47.6	11.0	3.9	0.6	
65～69歳	4,842	100.0	14.6	23.2	46.8	11.3	2.7	1.4	
男性計	5,849	100.0	14.3	20.8	48.4	11.4	3.9	1.2	
男性・60～64歳	3,056	100.0	14.6	20.3	48.3	11.4	4.8	0.7	
男性・65～69歳	2,794	100.0	14.1	21.5	48.4	11.4	2.9	1.7	
女性計	4,352	100.0	15.0	25.1	45.7	10.8	2.6	0.7	
女性・60～64歳	2,303	100.0	14.8	24.7	46.7	10.5	2.8	0.5	
女性・65～69歳	2,049	100.0	15.2	25.5	44.6	11.3	2.5	1.0	

〈2014年調査〉

(%)

	該当者数 (千人)	計	大いに満足 している	やや満足 している	普通	やや不満 である	大いに不満 である	無回答
男女計	10,000	100.0	15.4	20.2	44.6	9.7	3.0	7.2
60～64歳	6,005	100.0	14.6	19.7	43.9	11.1	3.2	7.4
65～69歳	3,994	100.0	16.5	20.9	45.6	7.5	2.7	7.0
男性計	5,779	100.0	15.1	20.7	44.1	9.6	4.1	6.4
男性・60～64歳	3,541	100.0	14.6	20.1	43.5	10.8	4.4	6.5
男性・65～69歳	2,238	100.0	15.9	21.6	45.1	7.6	3.6	6.2
女性計	4,220	100.0	15.7	19.4	45.2	9.8	1.5	8.4
女性・60～64歳	2,464	100.0	14.7	19.1	44.4	11.6	1.5	8.8
女性・65～69歳	1,756	100.0	17.1	19.9	46.3	7.3	1.5	7.9

○現在仕事をしていない人の理由（図表7）

- ・ 調査時点で仕事をしていなかった人（図表1参照）に、その理由を尋ねた結果をみると、「仕事をしたいと思わなかった」（71.8%）が7割強を占め、「仕事をしたいと思いつながら仕事につけなかった」（26.4%）は3割弱となっている。「仕事をしたいと思いつながら仕事につけなかった」とする割合は、男女別には男性の方が7ポイント程度高く、また、男性の中では60～64歳層の方が14ポイント程度高くなっている。
- ・ 2014年調査と比較すると、「仕事をしたいと思いつながら仕事につけなかった」の割合は男性では各年齢層で2～5ポイント程度減少しているものの、女性では各年齢層で2～6ポイント程度増加している。

図表7 調査時点で仕事をしなかった理由（調査時点で仕事をしなかった人）

〈2019年調査〉

(%)

	該当者数 (千人)	計	仕事をしたいと思いつながら仕事につけなかった	仕事をしたいと思わなかった	無回答
男女計	7,102	100.0	26.4	71.8	1.8
60～64歳	2,275	100.0	31.1	68.2	0.7
65～69歳	4,826	100.0	24.2	73.4	2.4
男性計	2,618	100.0	30.6	68.3	1.1
男性・60～64歳	724	100.0	40.8	58.7	0.6
男性・65～69歳	1,894	100.0	26.7	72.0	1.2
女性計	4,483	100.0	24.0	73.8	2.3
女性・60～64歳	1,551	100.0	26.5	72.7	0.8
女性・65～69歳	2,932	100.0	22.6	74.3	3.1

〈2014年調査〉

(%)

	該当者数 (千人)	計	仕事をしたいと思いつながら仕事につけなかった	仕事をしたいと思わなかった	無回答
男女計	8,078	100.0	26.0	71.9	2.2
60～64歳	3,596	100.0	28.0	69.7	2.3
65～69歳	4,483	100.0	24.4	73.6	2.0
男性計	3,011	100.0	35.0	61.1	3.8
男性・60～64歳	1,196	100.0	42.9	52.5	4.6
男性・65～69歳	1,815	100.0	29.8	66.9	3.3
女性計	5,067	100.0	20.6	78.2	1.2
女性・60～64歳	2,400	100.0	20.5	78.3	1.2
女性・65～69歳	2,668	100.0	20.7	78.2	1.1

2. 55歳当時から就業状況の変化

○55歳当時雇用者であった人の割合（図表8）

- ・ 60～69歳の総数のうち、55歳当時雇用者であった人の割合をみると、男女計で73.1%であり、現在の年齢層別にみても大きな違いはない。男女別には、男性81.0%、女性65.6%と15ポイント程度の差がある。
- ・ 2014年調査と比較すると、55歳当時雇用者であった人の割合は上昇しており、男性で2ポイント強の上昇、女性で6ポイントの上昇と、高齢期においても女性の雇用が拡大していることが示されている。

図表8 55歳当時雇用者であったかどうか

〈2019年調査〉						〈2014年調査〉					
	総数 (千人)	計	雇われて いた	雇われて いなかった	無回答		総数 (千人)	計	雇われて いた	雇われて いなかった	無回答
男女計	17,303	100.0	73.1	26.6	0.3	男女計	18,199	100.0	69.0	30.5	0.6
60～64歳	7,634	100.0	74.2	25.5	0.3	60～64歳	9,650	100.0	69.6	30.1	0.3
65～69歳	9,669	100.0	72.3	27.4	0.3	65～69歳	8,549	100.0	68.3	30.9	0.9
男性計	8,468	100.0	81.0	19.0	0.0	男性計	8,861	100.0	78.8	20.6	0.5
男性・60～64歳	3,780	100.0	81.5	18.4	0.1	男性・60～64歳	4,761	100.0	79.1	20.5	0.3
男性・65～69歳	4,687	100.0	80.6	19.4	-	男性・65～69歳	4,100	100.0	78.5	20.7	0.8
女性計	8,835	100.0	65.6	33.8	0.5	女性計	9,337	100.0	59.6	39.8	0.6
女性・60～64歳	3,854	100.0	67.1	32.5	0.5	女性・60～64歳	4,889	100.0	60.3	39.4	0.3
女性・65～69歳	4,981	100.0	64.5	34.9	0.6	女性・65～69歳	4,448	100.0	58.8	40.3	0.9

○定年経験の有無（図表9）

- ・ 55歳当時雇用者であった人について、定年を経験したかどうかをみると、男女計で45.7%、男性58.1%、女性31.0%が定年を経験したとしている。
- ・ 2014年調査と比較すると、男女計で2ポイント弱の低下で、男性では変化がないのに対して、女性では3ポイントの低下となっている。年齢層別では、男女とも60～64歳層において3ポイント程度の低下が見られる。

図表9 定年を経験したかどうか(55歳当時雇用者)

〈2019年調査〉						〈2014年調査〉					
	該当者数 (千人)	計	定年経験 あり	定年経験 なし	無回答		該当者数 (千人)	計	定年経験 あり	定年経験 なし	無回答
男女計	12,654	100.0	45.7	52.3	2.0	男女計	12,548	100.0	47.4	51.5	1.1
60～64歳	5,665	100.0	37.7	60.9	1.4	60～64歳	6,713	100.0	41.3	57.4	1.3
65～69歳	6,989	100.0	52.1	45.3	2.6	65～69歳	5,835	100.0	54.5	44.8	0.8
男性計	6,856	100.0	58.1	40.5	1.4	男性計	6,985	100.0	58.1	41.2	0.7
男性・60～64歳	3,080	100.0	49.5	49.3	1.2	男性・60～64歳	3,767	100.0	52.7	46.8	0.4
男性・65～69歳	3,776	100.0	65.1	33.3	1.6	男性・65～69歳	3,219	100.0	64.3	34.6	1.1
女性計	5,799	100.0	31.0	66.2	2.8	女性計	5,563	100.0	34.0	64.5	1.5
女性・60～64歳	2,585	100.0	23.6	74.8	1.6	女性・60～64歳	2,947	100.0	26.6	71.0	2.4
女性・65～69歳	3,214	100.0	36.9	59.4	3.8	女性・65～69歳	2,617	100.0	42.3	57.3	0.4

○定年直後の就業状況（図表 10）

- ・ 定年を迎えた直後の就業状況をみると、「仕事をしていた」が 63.4%、「仕事をしていなかった」が 29.5%となっている。
- ・ 2014 年調査と比較すると、「仕事をしていた」の割合が 6 ポイント程度上昇している。年齢層別では、男女とも 60～64 歳層において 15 ポイント程度の大規模な上昇が見られる。

（注）2019 年調査では 2014 年調査から選択肢を一部変更（「失業して仕事を探していた」と「仕事や求職活動はしていなかった」を「仕事をしていなかった」として統合）していることに留意が必要である。

図表 10 定年経験者の定年直後の就業状況(55 歳当時雇用者のうち定年経験者)

〈2019年調査〉						〈2014年調査〉						
	該当者数 (千人)	計	仕事をして いた	仕事をして いなかった	無回答		該当者数 (千人)	計	仕事をして いた	失業して 仕事を探し ていた	仕事や求 職活動は していな かった	無回答
男女計	5,780	100.0	63.4	29.5	7.1	男女計	5,948	100.0	57.3	14.9	19.9	8.0
60～64歳	2,137	100.0	71.9	20.9	7.2	60～64歳	2,769	100.0	57.0	14.3	19.3	9.4
65～69歳	3,643	100.0	58.4	34.5	7.1	65～69歳	3,178	100.0	57.5	15.4	20.4	6.7
男性計	3,984	100.0	69.6	24.9	5.5	男性計	4,056	100.0	63.1	14.2	15.2	7.6
男性・60～64歳	1,526	100.0	74.5	18.8	6.6	男性・60～64歳	1,986	100.0	60.4	15.1	15.2	9.3
男性・65～69歳	2,458	100.0	66.5	28.7	4.8	男性・65～69歳	2,070	100.0	65.6	13.3	15.2	5.8
女性計	1,796	100.0	49.6	39.6	10.8	女性計	1,892	100.0	44.8	16.4	29.9	8.8
女性・60～64歳	611	100.0	65.4	26.0	8.7	女性・60～64歳	784	100.0	48.4	12.3	29.6	9.7
女性・65～69歳	1,185	100.0	41.5	46.6	11.9	女性・65～69歳	1,108	100.0	42.3	19.4	30.2	8.2

○定年直後の仕事の就業経緯（図表 11）

- ・ 定年直後に仕事をしていた人にその就業経緯を尋ねた結果をみると、73.9%が勤務先の会社などでの再雇用・勤務延長によるものであり、2014 年調査と比較すると 8 ポイント程度上昇している。特に、男性では 10 ポイント以上上昇（63.9%→75.0%）している。

図表 11 定年直後にしていた仕事の就業経緯
(55 歳当時雇用者で定年直後就業者)

〈2019年調査〉										
	総数 (千人)	計	勤務先の会社などで再雇用・勤務延長の形で働いていた	勤務先の会社から別の会社などをあつせんされて再就職した	勤務先からのあつせんによらず別の会社などに再就職した	自ら事業を起こした	内職・家業の手伝い、任意に行う仕事などをしてきた	友人・知人から就職先を紹介された	その他	無回答
男女計	3,664	100.0	73.9	6.8	10.6	1.5	0.3	1.4	1.8	3.7
60～64歳	1,537	100.0	74.8	7.1	9.1	1.1	0.4	1.8	1.1	4.8
65～69歳	2,127	100.0	73.3	6.6	11.7	1.9	0.3	1.1	2.3	2.9
男性計	2,772	100.0	75.0	7.7	9.7	1.6	0.2	1.0	1.6	3.1
男性・60～64歳	1,137	100.0	78.3	7.5	7.1	1.4	-	0.4	1.4	3.9
男性・65～69歳	1,635	100.0	72.7	7.9	11.5	1.8	0.4	1.4	1.8	2.5
女性計	892	100.0	70.7	3.8	13.3	1.1	0.7	2.6	2.3	5.5
女性・60～64歳	399	100.0	64.7	5.9	14.7	-	1.5	5.9	-	7.4
女性・65～69歳	492	100.0	75.5	2.0	12.2	2.0	-	-	4.1	4.1

〈2014年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	勤務先の会社などで再雇用・勤務延長の形で働いていた	勤務先の会社から別の会社などをあつせんされて再就職した	勤務先からのあつせんによらず別の会社などに再就職した	自ら事業を起こした	内職・家業の手伝い、任意に行う仕事などをしてきた	その他	無回答
男女計	3,406	100.0	66.0	12.5	13.5	1.2	1.9	2.7	2.2
60～64歳	1,579	100.0	73.4	8.8	10.9	1.2	1.6	2.4	1.6
65～69歳	1,827	100.0	59.6	15.6	15.8	1.2	2.1	3.0	2.7
男性計	2,559	100.0	63.9	15.7	12.3	1.1	1.9	2.9	2.1
男性・60～64歳	1,200	100.0	71.9	11.2	10.4	0.5	1.6	3.2	1.1
男性・65～69歳	1,359	100.0	56.8	19.8	14.0	1.6	2.2	2.6	3.0
女性計	848	100.0	72.4	2.5	17.2	1.4	1.8	2.2	2.5
女性・60～64歳	379	100.0	78.0	1.4	12.6	3.2	1.5	-	3.2
女性・65～69歳	468	100.0	67.8	3.5	20.8	-	2.0	4.0	1.9

(注)「友人・知人から就職先を紹介された」という選択肢は2014年調査にはなかった

○55歳当時雇用者であった人の定年前等の退職の有無(図表12)

- ・ 55歳当時雇用者であった人で定年を経験していない人(図表9参照)について、定年前等の退職(注)の有無をみると、「退職した」が50.3%、「現在も勤務している」が48.3%となっている。
- ・ 2014年調査と比べると、「退職した」の割合が低下(53.9%→50.3%)し、「現在も勤務している」が上昇(43.8%→48.5%)している。年齢層別には、60～64歳層で「退職した」が大きく低下(47.3%→39.6%)し、男性については65～69歳層でも低下(65.2%→57.0%)している。

(注)定年のない会社などから退職した場合を含む

図表12 定年前等の退職の有無
(55歳当時雇用者で定年を経験していない人)

〈2010年調査〉		(%)				〈2014年調査〉		(%)			
	総数 (千人)	計	退職した	現在も勤務している	無回答		総数 (千人)	計	退職した	現在も勤務している	無回答
男女計	6,617	100.0	50.3	48.5	1.2	男女計	6,468	100.0	53.9	43.8	2.3
60～64歳	3,451	100.0	39.6	59.4	1.0	60～64歳	3,856	100.0	47.3	50.2	2.4
65～69歳	3,167	100.0	62.0	36.6	1.4	65～69歳	2,613	100.0	63.6	34.2	2.2
男性計	2,776	100.0	46.3	52.5	1.3	男性計	2,878	100.0	55.2	41.7	3.1
男性・60～64歳	1,518	100.0	37.3	61.9	0.8	男性・60～64歳	1,764	100.0	48.8	48.4	2.8
男性・65～69歳	1,259	100.0	57.0	41.1	1.9	男性・65～69歳	1,114	100.0	65.2	31.2	3.6
女性計	3,841	100.0	53.2	45.6	1.1	女性計	3,590	100.0	52.9	45.4	1.7
女性・60～64歳	1,933	100.0	41.3	57.4	1.2	女性・60～64歳	2,092	100.0	46.1	51.8	2.1
女性・65～69歳	1,908	100.0	65.3	33.7	1.1	女性・65～69歳	1,498	100.0	62.4	36.5	1.2

○定年前退職者の状況(図表13)

- ・ 定年の前等に55歳当時の勤め先を退職した人に、その退職が事業主都合によるものであったかどうかを尋ねた結果をみると、「事業主都合であった」は21.8%であった。

- ・ 2014年調査と比較すると、事業主都合の割合は、男性で若干の低下（32.2%→29.8%）となっているのに対して、女性では大幅な低下（28.1%→16.8%）となっている。

図表 13 55歳当時の勤務先からの退職の態様
(55歳当時に雇われていた会社を定年前に退職した人)

(2019年調査)						(2014年調査)					
	総数 (千人)	計	事業主都合であった	事業主都合でなかった	無回答		総数 (千人)	計	事業主都合であった	事業主都合でなかった	無回答
男女計	3,328	100.0	21.8	74.6	3.6	男女計	3,486	100.0	29.9	66.3	3.8
60～64歳	1,366	100.0	19.4	76.2	4.4	60～64歳	1,825	100.0	33.6	63.9	2.5
65～69歳	1,963	100.0	23.5	73.4	3.0	65～69歳	1,661	100.0	25.9	68.9	5.2
男性計	1,284	100.0	29.8	65.1	5.1	男性計	1,588	100.0	32.2	64.4	3.4
男性・60～64歳	567	100.0	25.0	68.6	6.4	男性・60～64歳	861	100.0	38.3	59.1	2.6
男性・65～69歳	718	100.0	33.6	62.3	4.1	男性・65～69歳	726	100.0	25.0	70.6	4.4
女性計	2,044	100.0	16.8	80.5	2.6	女性計	1,898	100.0	28.1	67.9	4.1
女性・60～64歳	799	100.0	15.4	81.6	2.9	女性・60～64歳	964	100.0	29.4	68.2	2.5
女性・65～69歳	1,245	100.0	17.7	79.8	2.4	女性・65～69歳	934	100.0	26.7	67.6	5.8

○高齢期に向けて行った諸準備（図表 14）

- ・ 全ての調査対象者に、高齢期のキャリアを意識して行った職業能力開発や転職準備等について複数回答で尋ねたところ、「特に取り組んだことはない」が65.4%と最も多く、これに「資格を取得するために自分で勉強したことがある」（12.8%）、「資格取得について調べたことがある」（7.6%）、「資格取得を目的とはしないが、自分で勉強したことがある」（7.6%）がつづく。
- ・ 2014年調査と比較すると、選択肢を一部変更しているため単純に比較はできないが、「特に取り組んだことはない」が最も多い傾向に変化はない。

図表 14 50歳前後になってから、転職や職業能力向上のために取り組んだこと
(複数回答)

(2019年調査)												(%)
	総数 (千人)	自営業を始めるための準備をした	資格取得について調べたことがある	資格取得するために自分で勉強したことがある(自学自習、講座の受講など)	資格取得を目的とはしないが、自分で勉強したことがある(自学自習、講座の受講など)	職業能力の向上に取り組んだことはないが、転職の準備はしたことがある	過去の職務経歴を振り返って、自分の職務能力分析を行ったことがある	社内外の専門家に今後のキャリアについて相談した	高齢期の働き方に関する研修・セミナーに参加した	その他	特に取り組んだことはない	無回答
男女計	17,303	3.0	7.6	12.8	7.6	5.6	6.0	0.8	2.6	0.8	65.4	2.6
60～64歳	7,634	2.5	9.1	13.7	7.6	5.5	6.7	1.1	2.6	0.8	64.4	2.1
65～69歳	9,669	3.4	6.4	12.0	7.6	5.8	5.4	0.7	2.5	0.7	66.1	3.0
男性計	8,468	4.6	8.7	13.0	8.1	6.4	8.3	1.4	3.8	1.1	62.6	2.1
男性・60～64歳	3,780	4.1	8.9	13.0	8.0	5.6	8.5	1.7	4.4	1.3	62.4	1.8
男性・65～69歳	4,687	5.0	8.5	13.0	8.2	7.2	8.2	1.1	3.3	0.9	62.7	2.3
女性計	8,835	1.4	6.6	12.6	7.1	4.8	3.8	0.3	1.4	0.5	68.0	3.1
女性・60～64歳	3,854	0.9	9.3	14.5	7.2	5.3	5.0	0.5	0.9	0.3	66.3	2.4
女性・65～69歳	4,981	1.8	4.4	11.1	7.1	4.4	2.8	0.2	1.8	0.6	69.4	3.6

〈2014年調査〉

(96)

	総数 (千人)	自営業を始めるための準備をした	資格取得について調べたことがある	資格を取得するために自分で勉強したことがある	資格を取得するために学校に通ったり、通信講座を受講したりした	職業能力の向上に取り組んだことはないが、転職の準備はしたことがある	過去の職務経歴を振り返って、自分の職務能力分析を行ったことがある	その他	特に取り組んだことはない	無回答
男女計	16,980	3.7	5.5	6.0	5.0	4.0	9.9	2.4	70.5	3.1
60～64歳	9,083	3.4	6.0	6.1	5.5	4.3	9.4	2.0	69.6	3.0
65～69歳	7,897	4.1	5.0	5.8	4.3	3.7	10.4	2.9	71.5	3.2
男性計	8,225	5.5	6.3	7.3	4.3	5.4	12.9	2.9	65.3	2.9
男性・60～64歳	4,412	5.1	6.7	6.9	3.7	5.4	12.6	2.5	66.2	2.7
男性・65～69歳	3,812	5.9	6.0	7.7	5.0	5.3	13.2	3.4	64.2	3.1
女性計	8,755	2.1	4.8	4.7	5.6	2.8	7.1	1.9	75.3	3.3
女性・60～64歳	4,671	1.7	5.3	5.4	7.3	3.3	6.5	1.4	72.7	3.3
女性・65～69歳	4,084	2.5	4.2	4.0	3.6	2.3	7.7	2.4	78.3	3.3

3. 今後の就業希望など

○65歳以降の働く予定（図表 15）

- ・ 60～64歳で働いている人を対象に65歳以降の働く予定を尋ねた結果をみると、「採用してくれる職場があるなら、ぜひ働きたい」が30.5%、「すでに働くことが（ほぼ）決まっている」が25.6%、「まだ決めていない。わからない」が27.2%、「仕事はしたくない。仕事からは引退するつもり」が7.0%などとなっている。
- ・ 2014年調査と比較すると、「採用してくれる職場があるなら、ぜひ働きたい」（13.5%→30.5%）と「すでに働くことが（ほぼ）決まっている」（15.9%→25.6%）の割合が大きく上昇し、「まだ決めていない。わからない」（31.4%→27.2%）、「仕事はしたくない。仕事からは引退するつもり」（11.7%→7.0%）の割合は低下している。男女別にみても、男女ともこれと同じ傾向である。

図表 15 65歳以降の働く予定
（60～64歳で働いている人）

〈2019年調査〉 (%)

	総数 (千人)	計	採用してくれる職場があるなら、ぜひ働きたい	すでに働くことが（ほぼ）決まっている（誘い・雇用契約がある）	まだ決めていない。わからない	仕事はしたくない。仕事からは引退するつもり	自分の健康、家庭の事情等で働けないと思う	健康ではあるが、私の職種は体力等を要する仕事なので、肉体的に働けないと思う	その他	無回答
男女計	5,359	100.0	30.5	25.6	27.2	7.0	2.0	1.9	3.8	2.1
男性	3,056	100.0	32.5	24.4	27.7	7.4	0.8	1.3	4.8	1.2
女性	2,303	100.0	27.8	27.3	26.5	6.4	3.6	2.6	2.6	3.3

〈2014年調査〉 (%)

	総数 (千人)	計	採用してくれる職場があるなら、ぜひ働きたい	すでに働くことが（ほぼ）決まっている（誘い・雇用契約がある）	まだ決めていない。わからない	仕事はしたくない。仕事からは引退するつもり	自分の健康、家庭の事情等で働けないと思う	健康ではあるが、私の職種は体力等を要する仕事なので、肉体的に働けないと思う	その他	無回答
男女計	6,005	100.0	13.5	15.9	31.4	11.7	2.0	3.4	13.4	8.7
男性	3,541	100.0	13.5	14.9	33.2	12.3	1.1	3.5	14.0	7.5
女性	2,464	100.0	13.5	17.3	28.8	10.8	3.4	3.2	12.6	10.5

○65歳以降に希望する労働時間（図表 16）

- ・ 「採用してくれる職場があるならぜひ働きたい」、「すでに働くことが決まっている」と回答した者に対して、65歳以降に希望する労働時間を複数回答で尋ねたところ、「フルタイム」が41.5%、「短時間（週20～30時間未満）」が27.4%、「短時間（週30時間以上）」が20.1%であった。男性では「フルタイム」が55.9%、女性では「短時間（週20～30時間未満）」が36.1%と最も多い。

図表 16 65歳以降に仕事をする場合、希望する労働時間(複数回答)

(2019年調査)

(%)

		総数 (千人)	フルタイム	短時間 (週30時間以上)	短時間 (週20~30時間未満)	短時間 (週20時間未満)	その他	無回答
全体		3,005	41.5	20.1	27.4	16.6	2.1	0.8
年齢階層	60~64歳	3,005	41.5	20.1	27.4	16.6	2.1	0.8
	65~69歳	0	-	-	-	-	-	-
男性計		1,736	55.9	20.5	21.0	8.2	2.3	0.7
	60~64歳	1,736	55.9	20.5	21.0	8.2	2.3	0.7
	65~69歳	0	-	-	-	-	-	-
女性計		1,269	21.8	19.4	36.1	28.2	1.9	0.9
	60~64歳	1,269	21.8	19.4	36.1	28.2	1.9	0.9
	65~69歳	0	-	-	-	-	-	-

注1：サンプル数は、図表15で「採用してくれる職場があるならぜひ働きたい」と「すでに働くことが決まっている」と回答した者である。

注2：この質問項目は2014年調査では設けられていない。

○65歳を過ぎても働くために必要なこと(図表17)

- ・ 65歳を過ぎても働くために必要なことを複数回答で尋ねたところ、「健康・体力」が82.0%と最も多く、次いで「仕事への意欲」(58.9%)、「仕事の専門知識・技能があること」(46.2%)、「協調性(年下の管理監督者の下でも働けることなど)」(34.9%)、「専門性よりは色々な仕事ができる能力や幅広い経験」(21.4%)が挙げられた。
- ・ 2014年調査と比較すると、選択肢を一部変更しているため単純に比較はできないが、「健康・体力」が最も多い傾向に変化はない。

図表 17 65歳を過ぎても働くために必要なこと(複数回答)
(調査時点で仕事をしている人)

(2019年調査)

(%)

	総数 (千人)	仕事の 専門知識・技 能があること	専門性よりは 色々な仕事 ができる能力 や幅広い 経験	協調性(年下 の管理監督 者の下でも 働けること など)	仕事への 意欲	健康・体力	幅広い人脈、 知り合いが 多いこと	過去の 転職経験	定年前から、 定年後を意 識した準備 (転職の準備 を含む)を進 めること	わからない	その他	無回答
男女計	10,201	46.2	21.4	34.9	58.9	82.0	15.3	3.6	9.2	1.6	1.1	0.5
60~64歳	5,359	46.1	22.8	37.7	60.9	84.2	15.0	3.8	9.9	1.9	1.1	0.2
65~69歳	4,842	46.3	19.9	31.9	56.7	79.7	15.7	3.4	8.5	1.2	1.1	0.8
男性計	5,849	51.4	21.9	33.4	56.8	79.2	18.0	3.0	9.2	1.6	1.0	0.6
男性・60~64歳	3,056	50.3	22.0	34.4	58.7	80.5	18.5	3.7	9.1	2.1	1.2	0.3
男性・65~69歳	2,794	52.6	21.9	32.2	54.7	77.7	17.5	2.3	9.3	1.1	0.8	1.1
女性計	4,352	39.2	20.8	37.0	61.7	85.9	11.6	4.3	9.3	1.5	1.2	0.2
女性・60~64歳	2,303	40.6	24.0	42.1	63.8	89.0	10.2	3.8	11.0	1.5	1.0	0.0
女性・65~69歳	2,049	37.7	17.2	31.4	59.3	82.4	13.2	4.9	7.4	1.5	1.5	0.5

〈2014年調査〉

(%)

	総数 (千人)	仕事の専門 知識・技能が あること	専門性よりは 色々な仕事 ができる能力 や幅広い経 験	協調性、仕 事に取り組 む真摯な態 度など	いつまでも現 役で活躍す る(若い者には 負けない) という意欲	健康・体力 (65歳まで の勤務以上 に重要である)	幅広い人脈、 知り合いが 多いこと(就 職のあっせ んで助けても らえる)	過去の転職 経験	定年前から、 定年後を意 識した準備を 用意周到に 進めること	高齢者にな かなか仕事 はないので 転職などは せず慣れた 職場で働くこ と	無回答
男女計	10,000	47.2	19.4	34.6	27.4	66.8	11.6	3.2	5.8	23.7	5.6
60～64歳	6,005	48.6	17.1	33.5	27.3	64.8	10.7	2.9	5.8	24.9	4.8
65～69歳	3,994	45.1	22.7	36.4	27.6	69.8	12.9	3.8	5.7	21.9	6.8
男性計	5,779	53.0	21.0	34.9	29.3	64.2	13.9	3.1	5.6	17.6	5.7
男性・60～64歳	3,541	54.4	19.5	32.8	29.0	62.3	13.4	2.9	6.0	18.9	4.6
男性・65～69歳	2,238	50.9	23.5	38.2	29.8	67.1	14.7	3.5	5.0	15.7	7.4
女性計	4,220	39.3	17.1	34.3	24.8	70.3	8.5	3.4	6.0	31.9	5.5
女性・60～64歳	2,464	40.3	13.7	34.5	24.8	68.3	6.9	2.8	5.6	33.5	5.1
女性・65～69歳	1,756	37.8	21.7	34.1	24.8	73.1	10.7	4.1	6.5	29.8	6.1

○現行制度に対する考え (図表 18)

- ・ 現在わが国では定年を定める場合は60歳以上にするとともに、希望者全員を65歳まで継続雇用する仕組みとなっているが、この仕組みが今後どのようなものになるのが望ましいかを複数回答で尋ねたところ、「希望すれば何歳まででも働ける仕組みが望ましい」が41.7%と最も多く、ついで「60歳より上の定年年齢が望ましい」(33.4%)、「定年後の継続雇用の上限年齢の引き上げが望ましい」(16.9%)であり、現行制度より長期に働けるような仕組みづくりが求められているといえる。

図表 18 将来的に望ましい定年年齢の制度(複数回答)

〈2019年調査〉

(%)

	総数 (千人)	今のままで よい	60歳より上 の定年年齢 が望ましい	定年が廃止 されるのが 望ましい	定年後の継続 雇用の上限年 齢の引き上げ が望ましい	希望すれば何 歳まででも働 ける仕組みが望 ましい	その他	特に要望は ない	無回答	
全体	8,860	14.5	33.4	10.9	16.9	41.7	3.1	5.3	4.4	
年齢階層	60～64歳	4,429	17.0	32.3	10.0	15.1	40.7	3.4	5.0	4.5
	65～69歳	4,431	12.0	34.4	11.8	18.8	42.8	2.7	5.6	4.2
男性計		5,290	16.9	35.6	9.9	17.5	36.4	3.4	5.4	4.2
	60～64歳	2,526	20.7	34.1	9.1	14.1	33.5	4.3	5.4	4.2
	65～69歳	2,764	13.4	37.0	10.6	20.6	39.1	2.6	5.3	4.3
女性計		3,571	10.9	30.0	12.4	16.0	49.6	2.6	5.1	4.6
	60～64歳	1,903	12.0	29.9	11.1	16.4	50.3	2.2	4.3	4.9
	65～69歳	1,667	9.6	30.1	13.9	15.7	48.8	3.0	6.0	4.2

注1：サンプル数は、55歳当時雇用されていた会社に「現在も勤務している」と回答した者、定年・早期退職直後に「仕事をしていた」と回答した者、定年・早期退職後「再び働くようになった」と回答した者である。

注2：この質問項目は2014年調査では設けられていない。